

平成 16 年度

オーストラリア スタディ・ツアー



本年度も、10月21日から、8泊9日の日程でオーストラリアへのスタディ・ツアー（市内中学校2年生14人、引率3人）を実施しました。メルボルンは例年になく気温が低く、春冷えの毎日でしたが、ツアーの全行程を通じて、生徒たちはオーストラリアの人々の温かさや思いやりにふれ、充実した日々を過ごすことができました。

ファミリーに感謝！

今回は、ホームステイを1日増やしたこともあり、ホストファミリーの方たちとの生活から多くのことを学ぶことができました。

この海外派遣の9日間はとても短く感じました。行く前は、自分の英語が通じるかとても不安でしたが、身ぶり手ぶりで通じました。ホームステイでは、家族の人がやさしくて、うれしかったです。このとても貴重な体験は決して忘れません。

西浦中 壁谷卓世

最初は緊張していましたが、ホストファミリーと会って、毎日が楽しく、あっという間に過ぎてしまいました。別れる時は悲しくて涙がいっぱい出てきました。いっしょに過ごした5日間は、一生の宝物です。絶対忘れません。今度行く時は、もっと英語力をつけていきたいです。

塩津中 大原京子

私がオーストラリアで心に一番残っているのはホームステイです。私のホストファミリーの女の子、カリヤとは、とてもフレンドリーになりました。本当の家族のように接してくれて、毎日が楽しくてしかたありませんでした。

私はこのオーストラリアの家族を、一生忘れません。

蒲郡中 山下亜津沙

5日間のホームステイで貴重な体験をすることができました。はじめは言葉が通じるか不安でしたが、ホームステイ先に着いた日、緊張していた僕に「キャッチボールをしよう。」と声をかけてくれました。温かい人がいっぱいいるオーストラリアに、またいつか行きたいと思います。

大塚中 飛田宗一郎



きずな、そしてチャレンジ！

ホストファミリー、共に参加した仲間、蒲郡の家族や友達…。人と人とのきずなの大切さも学んだツアーでした。

今回はめったにできない貴重な体験をさせてもらいました。特にホームステイではホストファミリーの人たちとの出会いで、人間関係の大切さがよくわかりました。日常の英会話で、英語力もついていたと思います。また、このツアーが大成功だったことは、仲間の協力があつてこそだと思いました。

塩津中 富樫優太

僕は、この海外派遣で多くのことを学びました。特に自分から何でもチャレンジすることです。英語は話さずに恥ずかしくてはだめです。自分から積極的に話せば相手もわかってくれます。これからは積極性を欠かさずいろいろなことにチャレンジしたいです。そしてこの海外派遣で学んだことを他の人に伝えたいです。

西浦中 西山晶太